



## 地域の絆で事故防げる

あがた わかば  
**縣 若葉さん**(啓新高2年)

最近、若い子どもを巻き込んだ事故や、高齢者の運転による事故のニュースをよく目にする。交通取り締まりや高齢者による免許返上などさまざまな対策がなされているが、一番の抑止力となるのは地域の方々のちょっとした気遣いであると思う。

この記事の写真の中に「交通安全」と書かれた人形が、流木でできた手を広げて立っている。私の家の近くにも、地域の人が作ったかかしや交通安全を祈願した俳句が

設置されている。私はそこを通るたびに改めて「気をつけよう」という気持ちになると同時に、どこかほっこりした気持ちにもなるのだ。写真の中の少女のにこやかな表情からも、手作りの人形に愛着を持っていることが見て取れる。

一方、最近、就職や大学進学を理由に福井の若者の流出が止まらないうと聞く。しかし、この記事の人形のように小さなことに地域の方々の温かい心を感じることで、私たちは自然と地域に恩返しをしたくなるものだ。たとえ一度県外へ出たとしても、故郷に戻り貢献したくなる。

地域創生には、地域の魅力アップとともに、地域の人々の「温かい心」のバトンパスが重要な鍵になるのではないかなと思う。

